

- ・山梨県立男女共同参画推進センター
  - ・女性の人権サポート・くろーばー
  - ・山梨県女性相談所
- 三者共催事業



# 貧困を抱える女性への支援を考える

～DV被害や子どもの貧困へ繋がる連鎖を絶ち切る為に～

現在、日本は世界第3位の経済大国でありながら、所得格差の拡大やワーキングプアなどの問題により、日本人の7人に1人が貧困とみなされ、母と子のひとり親世帯では半数以上が貧困に苦しんでいます。

この講座では、貧困問題が引き起こす虐待やDV、子どもの貧困へ繋がる連鎖などについて学ぶとともに、それらの根絶を目指すための、官民ならびに教育機関との垣根を越えた連携支援のあり方について、みなさんとともに考えます。

## 【講演】「貧困を抱える女性への支援を考える ～DV被害や子どもの貧困へ繋がる連鎖を絶ち切る為に～」(13:30～14:40)

講師 石川瞭子さん（聖隷クリストファー大学社会福祉学部教授）

認定臨床心理士。博士（社会福祉学）。公立相談機関で約20年以上、子どもと家族の相談を行い、その後大学教員となり、20年以上こども家庭福祉領域の研究・教育・社会貢献に従事。著書『サイレントマザー・貧困のなかで沈黙する母親と子ども虐待』では、「本当に支援が必要な母子は社会から見えない存在であり、その発見は緊急を要する場合がある」と問題定義している。

その他著書に『高校生・大学生のメンタルヘルス』『児童・生徒の心と体の危機管理』『子どもの性虐待』などがあり、不登校関係と青少年のメンタルヘルス、近年は虐待関係を多く扱っている。

## 【報告・ディスカッション～まとめ】(14:50～16:00)

- ① 名執義高さん（NPO法人こどもサポートやまなし理事長）
  - ② 篠原美代子さん（ぱばママキッズ甲斐 協力会員）
  - ③ 清水美穂さん（女性の人権サポート・くろーばー 代表）
- コーディネーター 横田恵子さん（山梨県女性相談所 所長）  
アドバイザー 石川瞭子さん（聖隷クリストファー大学社会福祉学部教授）



平成30年 12月13日（木）13:30～16:00

山梨県立男女共同参画推進センター・ぴゅあ総合 大研修室

■対象：県母子父子自立支援員、市町村家庭児童相談員・保健師等行政関係者、民間支援団体、小学校・中学校・各種学校関係者、DV問題に関心のある一般県民

■定員：60名（要事前申込）

designed by freepik.com

主催・お問い合わせ 山梨県立男女共同参画推進センター

# ぴゅあ総合

〒400-0862 甲府市朝気 1-2-2  
TEL:055-235-4171 FAX:055-235-1077  
sogoevent@yamanashi-bunka.or.jp



「ぴゅあ総合」で検索！  
「フォロー」すると最新情報が受け取れます。